

がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌
【6週間隔】キイトルーダ+レンビマ併用療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース:42日間 キイトルーダ:最大18コースまで、レンビマ:制限なし 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1	—	
①	キイトルーダ: 400mg/body 生食 100mL	mg	Day1	30分	
内服	レンビマ: 20mg/body/日 患者の状態により、適宜減量	mg/日	Day1-42	分1	患者の状態に応じて、制吐剤を考慮する

◆レンビマを減量して投与を継続する場合には、1日1回14mg、10mg、8mg又は4mgに減量すること。

<減量段階>	レンビマ	カプセル数
通常量	20mg/body/日	10mg×2 10mgカプセル ×2
1段階減量	14mg/body/日	10mg×1 4mg×1 4mgカプセル ×1 10mgカプセル ×1
2段階減量	10mg/body/日	10mg×1 10mgカプセル ×1
3段階減量	8mg/body/日	4mg×2 4mgカプセル ×2
4段階減量	4mg/body/日	4mg×1 4mgカプセル ×1

4段階の用量調節が可能であるため、含量の異なる2種類のカプセル剤の組合せによる飲み間違いが生じないよう、用量調節を行った際には患者に十分な服薬指導を行ってください。

佐賀大学医学部附属病院